



わくわく倶楽部

江口グループ

第 141 号

平成31年4月発行

「伝統」を受け継ぐとは

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



今 月も江口グループわくわく倶楽部のニュースレターを読んで頂きありがとうございます。毎月、自分が読んだ本の中からいいなって思った本を紹介させて頂いていたのですが、今月は先日僕が中学校でゲストティーチャーをさせて頂いたこと、その時に思ったことをご紹介させて頂きたいなと思います。

2 月に娘が通う中学校で研究事業の発表会がありました。娘が通う中学校は石川県から道徳の授業の認定校に指定されていて、市内各校からたくさんの先生方、そして教育委員会の方々が授業の見学やシンポジウム、講演会が開催されました。そのたくさんの方が見学に来た道徳の授業で、僕がゲストティーチャーとしてお話をさせて頂きました。「伝統」について、クラスのみんなで考える道徳の授業でした。中学2年生のクラスです。

道 徳の題材としては、小松市の伝統的行事であるお旅まつりの曳山子供歌舞伎がテーマでした。この話を最初いただいた時は、子供歌舞伎、お旅まつりなのに、なぜ自分??という思いでしたが、校長先生から「地元で長いあいだ仕事をしている江口組さんの話を生徒に伝えてあげて欲しい」というお願いがあり、「会社のことならどれだけでも話しますよ!」ということで、ゲストティーチャーとして登場することになりました。

200年以上続くお旅まつりの子供歌舞伎です。その歴史の中では、伝統を守ろうという仕来りを大事にする長老、また新しいことにチャレンジしようという若者たち、その間のせめぎ合いやそれぞれの思いがどうなるのかというお話でした。中学2年生の生徒たちは、両者の思いや考えを汲み取り、伝統とは何かを一生懸命考え、ディスカッションしていました。そして、いろんな考えが出たところで僕の登場です。

さ て、僕が伝えたこと簡単に紹介します。江口組は今年で創業98年です。再来年は100年が経ちます。日本全国会社の数は300万とも400万とも言われている中で、100年続いている会社はわずか0.2~0.3%しかないそうです。(いろんな統計で数字は変わりますが) 1000社あると、たったの2社か3社しかありません。結構珍しいから、最近によく「伝統ある会社だね」って言われるようになりました。自分でも100年続いているというのはずすごいことだと思うけど、続いていることが立派なことではないです。

続けてこられたことは、創業したひいじいちゃん、そして祖父、父と受け継いだこと、そしてその時に一緒に働いてくれた大勢の人のおかげです。だから、その人たちに感謝しなくちゃいけない。

ま た、江口組は創業から街のインフラ整備の仕事をしています。道路を造ったり、橋を造ったりです。造るものは今も100年前も変わらないけど、やり方は大きく変わってきました。恐らく昔は今のよう、建設機械なんてほとんどなくて手作業、人力で工事現場の仕事をやっていました。そして最近10年前どころか、3年、もしくは1年前と比べて大きな変化が会社の中で起きています。例えば、5年前と比べて江口組にたくさんの女性が働く

ようになりました。その前は女性が働くなんて考えられないことだったけど、今は女性の力が活躍し、これから未来に向けても必要となる力となっています。こんな変化、また時代の流れに合わせてきたことが沢山あります。

で も、変わってないこともあるんです。それは昔と変わらずに「この地域の皆さんのために仕事をするっていうこと」です。その思いは今も昔も変わりません。安心安全なまちづくり、みんなが便利に豊かに暮らせるまちづくり。この思いは100年前とはなんら変わっていない、江口組の中で受け継がれている伝統です。自分たちのやっていることが正しいと、周りのことを考えずにいたら誰からも必要とされなくなるのじゃないのかな。周りの環境が変わり、人の考え方や価値観が時代とともに変化しています。

その変化に順応し、その時その時のお客様の声に対応していくことが100年続いた理由の1つでもあります。中学生のみんなもこれから高校、そして大人になります。僕たちよりもきっと変化の激しい時代になっていると思うから、変化に恐れずどんどんチャレンジしてくださいね。大変そうかもしれないけど、だから楽しいってことが沢山あるはず。頑張ってくださいね!

と いうようなことをお話しました。「伝わったかな??」って心配したけど、最後に生徒たちの発表を聞いて安心しました。

先生から「伝統を受け継ぐにはどうしたらいい?」の質問に

- 時代に適応させる
- 受け継がれてきたことの想いを理解する
- 変化させていく
- 伝統を好きになる
- 新しいこともしていく

生徒たちの意見を聞いてると僕が言ったことも生徒の意見に反映されていて安心しました。それと、「好きになる」っていうのいいなって思い、いいことを気づかせてもらいました。好きになるっていうことは続けられるっていうエネルギーの大切な要素だと思います。僕も建設業の仕事が好きだし、またこの地域のことが好きだから、この好きのエネルギーは大切にしたいなと思います。

道 徳の授業の先生なんて、最初はどうかと心配でしたが、おかげさまでいい経験をさせて頂きました。ありがとうございます。これからも地域の方々に必要とされる会社でいられるように変革・改革にチャレンジです!!



4代目の江口グループ現場だより

北陸新幹線工事中～2023年春 敦賀へ～動画を作りました！

北 陸新幹線金沢～敦賀間は2023年春に開業予定です。ただいまその金沢～敦賀の区間は工事中です。江口組がある小松市も北陸新幹線の工事で賑わっていますし、もしかしたら、皆さんのお住いの地域やお仕事で通る近くにも新幹線の工事現場があるかもしれません。きっと皆さんの中には新幹線の現場の様子が気になる方も多いはずだと思います。

江 口組は奥村組さん、加賀建設さんとJVを組み小松駅周辺の高架工事をこなしています。その気になる現場を動画で紹介。フェンスで囲われて見ることのできない新幹線の現場はこんな風になっています。この動画を見ると、工事現場のフェンスの中を見ることができます！

ぜ ひQRコードをアクセスし動画をご覧ください。また江口組YouTubeチャンネル「EguTube」では北陸新幹線の工事現場はもちろん様々な工事現場の様子や社内の様子をご覧になることができますよ。



丸の内配水場の解体工事では近所の皆様にはご迷惑をおかけしています

小 松市丸の内公園町にある丸の内配水場。配水場の旧施設やタンクを新設するために解体工事を昨年よ

り行なっております。解体の工事中は近所の皆様には騒音、振動、そして大型ダンプの通行とご迷惑をおかけしていることが沢山あるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。小松市民の皆さんにとって大切な水道水をしっかりと配給し続けるためにも旧施設を解体し新しい施設を造る必要性があります。近頃は水道管の老朽化の問題が様々な場所で聞かれるようになり、水道管の破裂や漏水なども起きています。皆さんが安心して生活できるためにも力を合わせて工事を進めていますので最後までよろしくお願い致します。



八丁川の護岸工事(江口組工区)が 完成しました

ゲ リラ豪雨など近年多発する大規模災害から地域住民の安全・安心を確保するために、河川の改修工事が行われています。小松市の八丁川も護岸の改修工事や浚渫工事が行われています。八丁川は大雨で増水する危険性が高い河川です。昨年江口組が小松市長田町周辺で工事を行っていた護岸工事が完成しました。工事中はご近所の皆様のご理解とご協力ありがとうございました。江口組の工事は終わりましたが、八丁川全体の工事はまだまだ続きます。皆さんが安心安全に住める街づくりをこれからも行なっていく予定だそうです。これからもご協力よろしくお願い致します。



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
 皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^ ^)/



4月3日にドライアイス洗浄の見学会を開催します

ド ライアイス洗浄の話を聞いたり、動画を見たり、もっとドライアイス洗浄のことを知りたいという方にお知らせです！ドライアイス洗浄の見学会を4月3日14時から開催します。開催場所は小松市今江町にある弊社の倉庫で行います。実際に洗浄の様子を見て頂ける見学会です。

初 めてドライアイス洗浄を見る人が「おーすごいね!!」って言って頂ける言葉です。ぜひ、ドライアイス洗浄を見学していただき「すごいね!!」の言葉をたくさん聞けたら嬉しいです。興味を持って頂いた方はQRコードにアクセスし、Facebookページのイベント予定から参加ボタンをクリックしてください。またお電話でも受付しています。申し込みをしていただいた方に見学会についての詳細事項をご連絡させていただきますのでよろしくお願い致します。



見学会イベントページQRコード



『江口グループの和の中に入れて、一緒に地域の皆さんの役に立つ仕事をしませんか?』

3 月1日からは就職活動が解禁しました。江口組と一緒に地域の皆さんのために働く仲間を募集しようと採用活動をスタートさせました。建設業そして工事現場が好きの人、地元が好きの人、みんなで何かをすることが好きな人。そんな好きを持っている仲間と出会えるように、3月9日にはいしかわ就職フェアに参加しました。

そ して会社説明会ならぬ、スーツ厳禁の工事現場&会社見学会を随時開催しています。これまでの会社説明会に現場見学会をプラスしました。説明会での会社概要や社長の話はもちろんします。でも、それだけじゃ江口組に入社した時に活躍してもらおう工事現場や職場環境の様子がわからないんじゃないかなと思ひ、私たちの商品でもある工事現場を見学してもらい少しでも工事現場の雰囲気が伝わればなと思ひます。だから、スーツだと汚れるかもしれないのでスーツは厳禁です。汚れても大丈夫な服装をお願いします!

4 月15日、22日の2回、5月7日、24日の2回、計4回開催する予定です。詳細と申し込みはこちらのQRコードを読み取って頂くと、Facebookイベントページにアクセスします。そちらの参加ボタンを押してください。もしくは、直接江口組に申し込んでもOKです。



申し込みQRコード



現場見学会の様子



スタッフ通信

工事部
畦地 翔葉

工事部
長谷川 惠章

こんにちは。平成時代もあとひと月程で終わりですね。
今月も“子供の頃にあこがれた職業”です。

子供の頃憧れた職業は、
土木作業員です。
通学時に見かける
作業員さんたちが
かっこよかったです。
畦地 翔葉

クリエイション江口
中田 さやか

イルカの調教師

TVでアメリカのイルカセラピーを
知り、そこでイルカと一緒に
働きたい!! と思っていました。
今でもいつかみたい場所
です。

工事部
森中 勇樹

パイロット
制服が
格好良かった
から

プロ野球選手です。
上手なプロ野球
選手になりたいと思っ
ました。
森中 勇樹

小説家

昔から本を読んだりするのが
好きだったので、憧れました。
読書感想文や、思いつきを書いたり
する宿題も楽しくこなしていました。
松原

小さい時は、
お花屋さんやケーキ屋さん
に憧れていた私ですが...
小学5年生の時に一転。
除雪車の運転手に憧れます。
理由は...カッコイイから。笑
今の仕事を選んだ
キッカケです?

プロ野球選手です
自分で上手だと思っ
て、少年野球に入りました。
途中が挫折しました。
池田 雅弘

工事部
松原 小亜美

工事部
小山 南海子

環境建設部
池田 雅弘

お店を紹介、
みんなに
知ってほしいこと、
ご意見・ご感想などが
ございましたら
ご連絡下さい!!



発行元

EGUCHI

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311(代)